

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式
調査時点 令和6年12月2日発送
令和6年12月13日回答期限
調査対象 信用保証利用先3,000企業
有効回答数 351 企業（回答率 11.7%）

※ 当期：R06年10月～12月実績見込
次期：R07年1月～3月期予測

【DI値について】

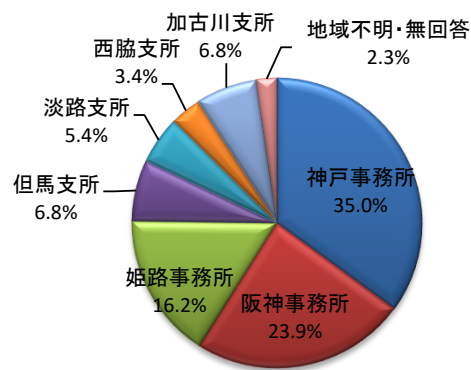
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

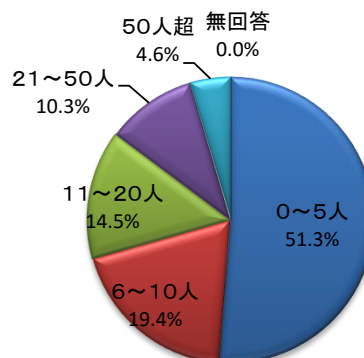
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	123	35.0%
阪神事務所	84	23.9%
姫路事務所	57	16.2%
但馬支所	24	6.8%
淡路支所	19	5.4%
西脇支所	12	3.4%
加古川支所	24	6.8%
地域不明・無回答	8	2.3%
合計	351	100.0%



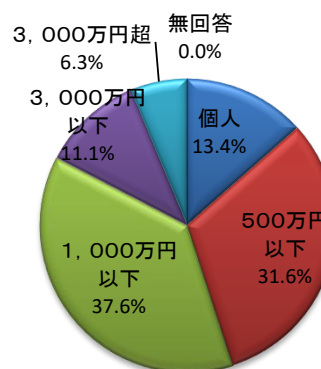
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	180	51.3%
6～10人	68	19.4%
11～20人	51	14.5%
21～50人	36	10.3%
50人超	16	4.6%
無回答	0	0.0%
合計	351	100.0%



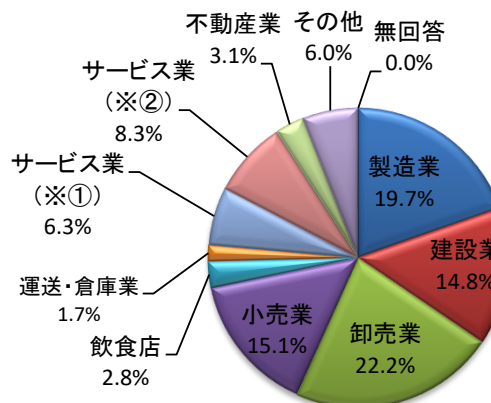
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	47	13.4%
500万円以下	111	31.6%
1,000万円以下	132	37.6%
3,000万円以下	39	11.1%
3,000万円超	22	6.3%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	69	19.7%
建設業	52	14.8%
卸売業	78	22.2%
小売業	53	15.1%
飲食店	10	2.8%
運送・倉庫業	6	1.7%
サービス業(※①)	22	6.3%
サービス業(※②)	29	8.3%
不動産業	11	3.1%
その他	21	6.0%
無回答	0	0.0%
合計	351	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(24年10～12月期)は、前期(24年7～9月期)に比べどのような状況ですか。
 (2) 次期(25年1～3月期)は、当期(24年10～12月期)に比べどう思いますか。

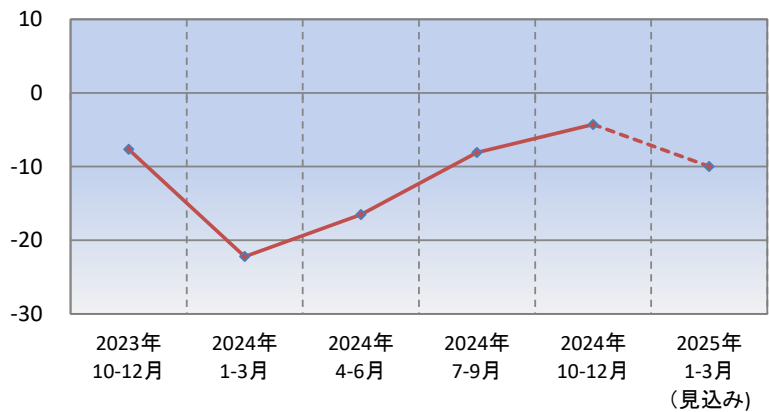
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	96	27.4%
変わらない	144	41.0%
減少した	111	31.6%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	81	23.1%
変わらないと思う	154	43.9%
減少すると思う	116	33.0%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%



生産・売上DI(増加－減少)

調査時期(実績)	2022年 10～12月	2023年 1～3月	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月 (見込み)
兵庫県	▲ 6.3	▲ 17.6	▲ 7.3	▲ 12.6	▲ 7.7	▲ 22.2	▲ 16.5	▲ 8.1	▲ 4.3	▲ 10.0

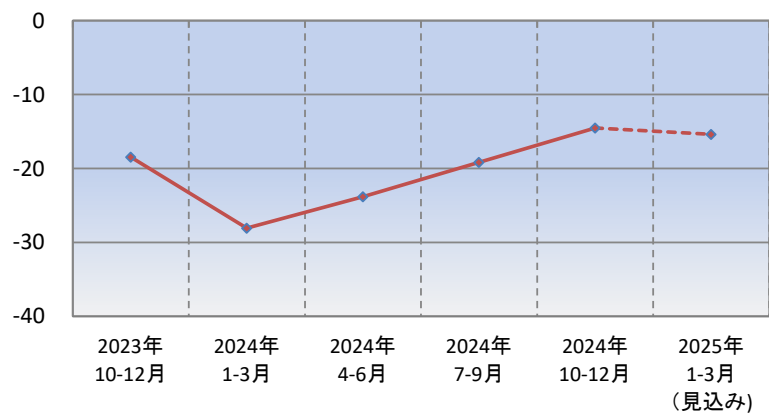
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	60	17.1%
変わらない	180	51.3%
悪化した	111	31.6%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	54	15.4%
変わらないと思う	189	53.8%
悪化すると思う	108	30.8%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%



採算DI(好転－悪化)

調査時期(実績)	2022年 10～12月	2023年 1～3月	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月 (見込み)
兵庫県	▲ 25.0	▲ 26.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 18.5	▲ 28.1	▲ 23.8	▲ 19.2	▲ 14.5	▲ 15.4

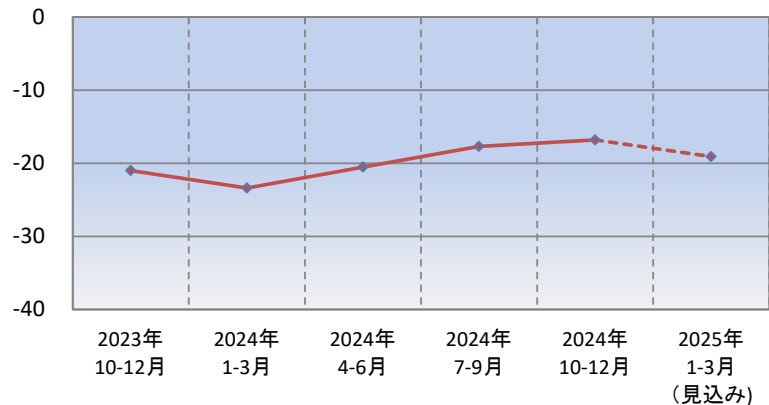
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	27	7.7%
変わらない	238	67.8%
悪化した	86	24.5%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	31	8.8%
変わらないと思う	222	63.2%
悪化すると思う	98	27.9%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%



資金繰りDI (好転-悪化)

調査時期 (実績)	2022年 10-12月	2023年 1-3月	2023年 4-6月	2023年 7-9月	2023年 10-12月	2024年 1-3月	2024年 4-6月	2024年 7-9月	2024年 10-12月	2025年 1-3月 (見込み)
兵庫県	▲ 24.5	▲ 23.9	▲ 20.5	▲ 21.6	▲ 21.0	▲ 23.4	▲ 20.5	▲ 17.7	▲ 16.8	▲ 19.1

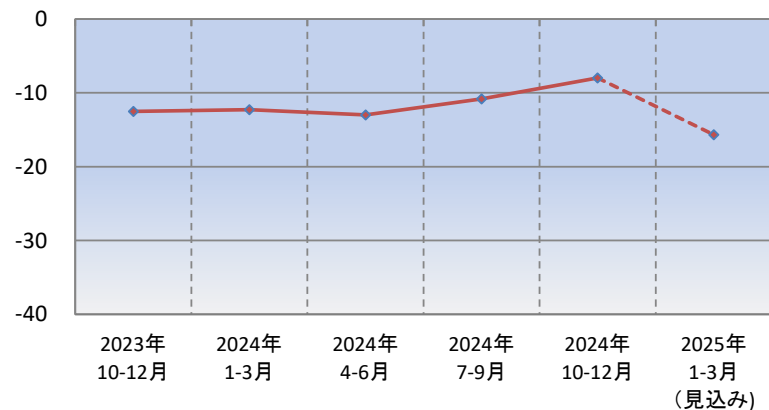
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	23	6.6%
変わらない	277	78.9%
難しくなった	51	14.5%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	19	5.4%
変わらないと思う	258	73.5%
難しくなると思う	74	21.1%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%



借入難易感DI (容易-難しい)

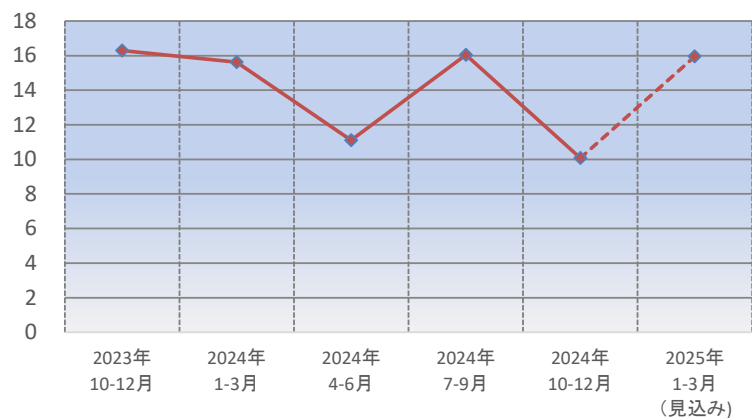
調査時期 (実績)	2022年 10-12月	2023年 1-3月	2023年 4-6月	2023年 7-9月	2023年 10-12月	2024年 1-3月	2024年 4-6月	2024年 7-9月	2024年 10-12月	2025年 1-3月 (見込み)
兵庫県	▲ 13.9	▲ 14.4	▲ 11.0	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 12.3	▲ 13.0	▲ 10.8	▲ 8.0	▲ 15.7

当期(10-12月)のDI値については、前期(7-9月)に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」「借入難易感」全ての項目において改善しました。
次期(1-3月)のDI値については、当期(10-12月)のDI値に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」「借入難易感」全ての項目において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	76	21.7%
変わらないと思う	255	72.6%
弱まると思う	20	5.7%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%



金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期(24年10～12月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

	24年10～12月期		24年7～9月期	24年4～6月期	24年1～3月期	23年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	97	27.6%	24.8%	18.2%	19.6%	25.6%
借入れしない	254	72.4%	75.2%	81.8%	80.4%	74.4%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	351	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

当期の借入れは、前回調査と比べ、2.8ポイント増加しています。

当期に借入れした総額はいくらですか。

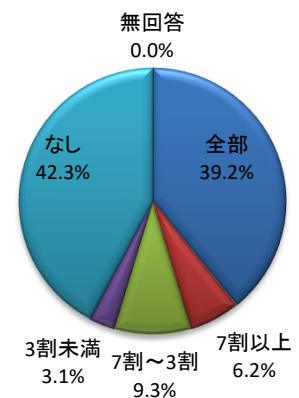
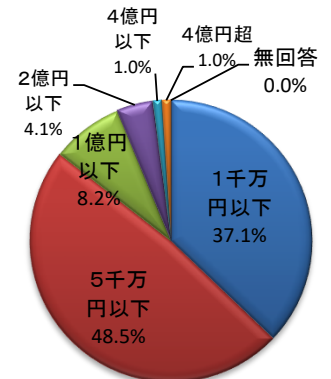
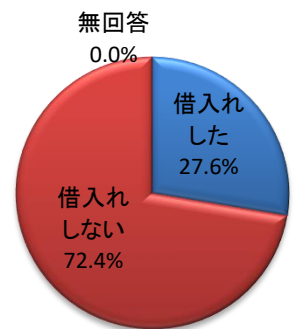
	24年10～12月期		24年7～9月期	24年4～6月期	24年1～3月期	23年10～12月期
借入れ総額	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	36	37.1%	29.7%	24.7%	28.4%	36.7%
5千万円以下	47	48.5%	47.5%	53.2%	43.3%	43.3%
1億円以下	8	8.2%	19.8%	18.2%	22.4%	14.4%
2億円以下	4	4.1%	1.0%	0.0%	1.5%	1.1%
4億円以下	1	1.0%	1.0%	3.9%	3.0%	3.3%
4億円超	1	1.0%	1.0%	0.0%	1.5%	0.0%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
総計	97	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

当期の借入総額は、前回調査と比べ「1千万以下」が7.4ポイント増加し、「5千万円以下」が1.0ポイント増加しています。

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

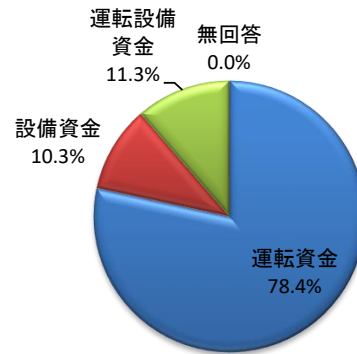
	24年10～12月期		24年7～9月期	24年4～6月期	24年1～3月期	23年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	38	39.2%	33.7%	37.7%	34.3%	38.9%
7割以上	6	6.2%	5.9%	6.5%	10.4%	7.8%
7割～3割	9	9.3%	9.9%	10.4%	17.9%	12.2%
3割未満	3	3.1%	5.9%	7.8%	1.5%	4.4%
なし	41	42.3%	44.6%	36.4%	35.8%	36.7%
無回答	0	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
総計	97	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

信用保証付き借入れの割合は、前回調査と比べ「全部」とする回答が5.5ポイント増加しています。



当期借入金の目的は何ですか。

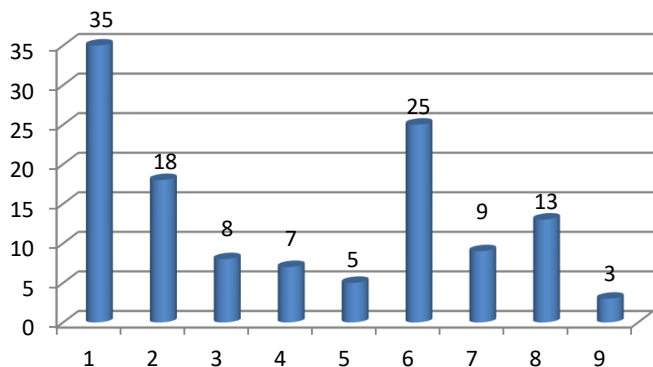
選択肢	回答数	構成比
運転資金	76	78.4%
設備資金	10	10.3%
運転設備資金	11	11.3%
無回答	0	0.0%
総計	97	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

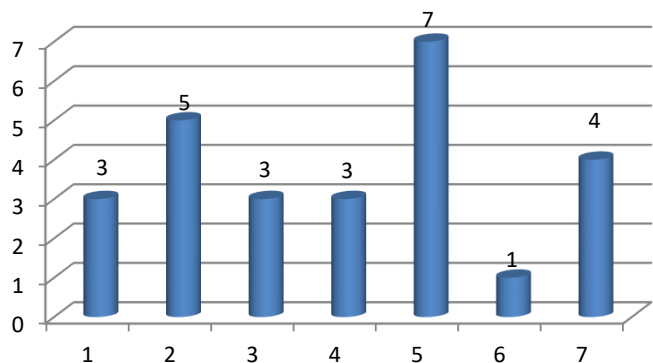
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	35
2 売上減少・赤字補填	18
3 過剰在庫対応	8
4 支払条件短縮対応	7
5 回収条件悪化対応	5
6 売上増加運転資金	25
7 在庫積み増し	9
8 季節運転資金	13
9 その他	3
総計	123



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上増加運転資金」「売上減少・赤字補填」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

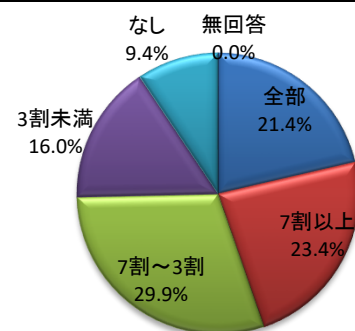
選択肢	回答数
1 新規事業	3
2 生産増強	5
3 合理化・効率化	3
4 設備老朽化に伴う入替	3
5 修理・修繕	7
6 公害防止・環境関連	1
7 その他	4
総計	26



設備資金の種類は、「修理・修繕」が最も多く、次いで「生産増強」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(24年12月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

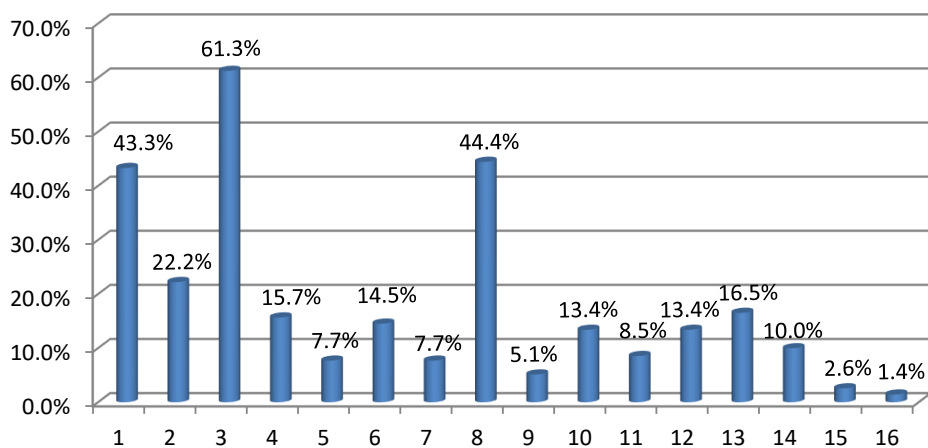
	24年10～12月期		24年7～9月期	24年4～6月期	24年1～3月期	23年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	75	21.4%	16.2%	18.2%	16.7%	15.9%
7割以上	82	23.4%	23.1%	21.7%	24.6%	25.6%
7割～3割	105	29.9%	32.4%	29.5%	32.2%	31.0%
3割未満	56	16.0%	18.4%	22.9%	16.4%	18.8%
なし	33	9.4%	9.8%	7.8%	10.2%	8.8%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	351	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「全部」「7割以上」とする回答が増加し、「7割～3割」「3割未満」「なし」とする回答が減少しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	152	43.3%	9 過剰在庫	18	5.1%
2 競争激化	78	22.2%	10 設備投資	47	13.4%
3 コスト高	215	61.3%	11 後継者難	30	8.5%
4 業界構造変化	55	15.7%	12 資金調達	47	13.4%
5 取引条件の悪化	27	7.7%	13 借入過多	58	16.5%
6 消費者ニーズの多様化	51	14.5%	14 為替	35	10.0%
7 技術・商品開発	27	7.7%	15 海外景気の減速	9	2.6%
8 人材・労働力の確保	156	44.4%	16 その他	5	1.4%



経営上の課題については、「コスト高」「人材・労働力の確保」「売上・受注の減少」が群を抜いて上位となっており、次いで、「競争激化」「借入過多」「業界構造変化」の順となっています。